
影の旅人

花村

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

影の旅人

【Nコード】

N2063B

【作者名】

花村

【あらすじ】

影の旅人は、影のようにやってきて、影のように帰っていく。旅人の語る物語をどうか聞いてください。

プロローグ

確かに存在しているのに、見えないもの。

確かに存在しているが、

理解できないもの。

確かに存在しているも、

自分と異なるもの。

人間はそういうものが苦手だった。恐いのだ。

それは今までもこれから変わりはないだろう。

なんだかわからない不思議な現象を人は幽霊だとか、鬼だとか、妖怪、怪物の仕業だと決め付けてきた。

幽霊も鬼も妖怪も、存在しないわけではない。

しかしそれらは、人間が思うほど狂暴ではなく訳もなく人間を襲ったりはしない。それらが、人間に牙をむくとき、悪いのは人間自信なのだ。

そんな人間達だけど、幽霊や鬼とうまく助け合い共生することもできる。

わたしはその例を今までいくつもみてきた。

しかし、うまくいくのはごく少数で多く人間はさらに幽霊、鬼、妖怪を怒らせてしまう。

そうなったら彼らは人間を殺してしまうだろう。

わたしの仕事は彼らが人間を殺してしまうのを防ぐこと。

そのためにわたしはいろんな場所を旅してきた。

できるだけ、多くの人間に知ってほしい、彼らのことを。そして人間がおかし続けている間違いを。

わたしは人間でも彼らの仲間でもない。中途半端な存在。人間であつて彼らでもある。両方の気持ちがよくわかる。
とびかけ
飛影。

それがわたしの名前。

人間に彼らのことを教えて歩く、影のような旅人。

プロローグ（後書き）

ここまで読んでくださってありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2063b/>

影の旅人

2010年10月17日14時32分発行